

理事長	園長	主幹	担当

令和5年度 自己評価・学校関係者評価（結果公表シート）

令和6年5月27日

しらゆりこども園

1 こども園の教育目標

心豊かな子どもの育成

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

全職員で、一人ひとりの子どもを大切に、その子の良さを認め成長につながる保育計画をしていく。子どもたちの健康・安全をキーワードとして「人とかかわる力」を育むと同時に、保護者への支援や対応について考えてみる。

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者 評価
1	保育の計画性	B	子どもの実態を明確につかみ、子どもの良さを認めその子の成長につながる保育計画になっているかを検討して再度計画を見直しされたい。	A
2	保育のあり方 幼児への対応	B	子どもの発達に応じた様々な保育活動をしているか、不適切な対応をしていないかなど職員みんなで話し合う必要あり。	A
3	教師としての資質、 能力、良識、適正	A	子どもの気持ちを大切に保育しているか、子どもの成長に少しでも自分の力が役立っているか、反省する良識をもってさらに努力されたい。	A
4	保護者への対応	A	子どもの日々の様子も、家庭と園で連携・把握が十分できていると思われる。個人面談等を通して信頼を高めていきたい。	A
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	地域の環境、特にグリーンランドの利用を通して自然とふれあう活動の中で、人とかかわることが楽しいと感じられる機会を多くする活動を取り入れていきたい。	B
6	研修と研究	B	保育教諭としての専門性に関する研修への意欲が高められるようにしていきたい。時間的なことも考えられるが、いかに集中して時間を使うかが一つの研究だと思われる。	B
7	外部アンケート	A	教職員及びこども園は外部から見ると評価が高い。経験の少ない教員も多くなってきているが、信頼関係が保てるようもっと保護者に対して自信を持って接するとよいと思う。	A

- \* 結果の表示方法
- A 十分達成されている
  - B 達成されている
  - C 取り組まれているが、成果が十分でない
  - D 取り組みが不十分である

#### 4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

重点課題である「人とかかわる力」を育むように保育計画を立てている。異年齢活動の取り組みの中では子どもたちの「優しい心」や「人とかかわる力」が、少しずつではあるが育まれていることが確認できた。保護者への支援や対応については、信頼関係を築いてからアプローチをしていき、就学支援につなげていく必要があると思った。

#### 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
人とかかわる力を育む	時間、空間、仲間の確保に配慮し、0歳～5歳の子どもたちがそれぞれ十分に楽しめるように環境を整えたい。
保護者の支援や対応	まず第一に保護者との信頼関係を築かなくてはならないため、入園時の様子を把握し受け入れ態勢を整えるため‘‘入園前発育・発達調査’’を実施した。今後も続けていきたい。
体力づくり	<ul style="list-style-type: none"><li>* 「安心・安全」をキーワードに、施設面での改善を図る。</li><li>* 室内にいたることが多くなる傾向がある。短時間でも園外保育に出かけられる計画を立て、運動不足を解消していきたい。</li><li>* グリーンランドでの遊びの充実。</li><li>* 「なかよし会」でのサーキット遊びなど、年齢に合った体力づくりの基礎にも力を入れていきたい。</li><li>* コスモスポーツクラブの講師の協力も得て、教職員の意識を高めて一人ひとり体力作りに関する研究をする必要がある。</li></ul>

#### 6 学校関係者評価委員会からのコメント

自然環境の良さを生かしきれていないので、単に子どもを遊ばせるだけでなく、もっともっと教職員で知恵をしぼり「自然対子ども」「子ども対子ども」「子ども対保護者」の関わり合いを深めていってもらいたい。今後はこれに関する研究をさらに深めてほしい。